

●国の選択文化財● 久井稻生神社の御当おとう



この前、久井町で珍しい行事があったと聞きました。



久井稻生神社で行われた御当行事のことかろう？この行事は、鎌倉時代から続くといわれている秋祭りなんじゃ。毎年10月20日前後の日曜日に行われておって、今年は10月19日にあつたんじゃぞ。昭和56年には、映像記録を残し、後世に伝えるべき文化財として、国の選択文化財になつたんじゃ。全国的にも珍しい行事なんじゃよ。



歴史があるんですね。どんな行事ですか？



久井地域の当番の人が集まって、神楽殿に見子の座、境内に敷いたむしろに東座、西座と呼ばれる席を設けて行事をするのじゃ。見どころは、東座と西座で行われる、タイを手で触れないように金かねの箸と包丁を使って調理することじゃよ。



▲金の箸と包丁でタイをさばき、刺身や酢の物を作る



器用に調理するんですね。



袴かみしもを着た人が、息をかけるないようにタイを高く持ち上げて包丁を持った人の所に運ぶ場面も見ものじゃよ。



▲男性用着物の袴を着た人が息をかけないようにタイを運ぶ



料理をした後はどうするのですか。



刺身にしたタイやお酒、酢の物などを食べるのじゃ。東座と西座で料理が違っ



僕も座って食事をしてみたいですね。



ここに座る人は、先祖代々決まっておるんじゃが、最近は人口の減少と高齢化が進み、欠席が多いんじゃ。空席には、誰でも座つてもいいということになっておるんじゃよ。フデカゲ君も座つてみてはどうじゃ。



来年はぜひ行って、座つてみます。